

大阪公立大学
現代システム科学域

2025 年度 学力試験問題 小論文

ユ	ネ	ス	コ	ス	ク	ー	ル	特別選抜
ス	ー	パ	ー	サイ	エ	ン	ス	ハイ
ス	ク	ー	ル	特別選抜				
帰		国		生		徒	特別選抜	

2024 年 11 月 23 日

注意

1. 問題冊子 1 部(表紙を含め 8 枚)と解答用紙 2 枚があります。試験開始の合図後、ただちに枚数を確認してください。
2. 試験開始後、解答用紙の所定の欄のすべてに受験番号を記入してください。
3. 解答は、解答用紙の所定の箇所に記入してください。
4. 解答時間は 90 分です。
5. 試験終了後は、解答用紙を回収します。(問題冊子は持ち帰ってください。)
6. 本試験問題の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。

問題 1 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

著作権の関係により公表しません

著作権の関係により公表しません

著作権の関係により公表しません

著作権の関係により公表しません

著作権の関係により公表しません

出典： 持続可能な生活研究会編 2024『持続可能な社会と人の暮らし』建帛社：41-50。
ただし、出題にあたり、文章および表を改めた箇所がある。

問 1 地震をハザードとした場合のエンドポイントの例を 3 つあげなさい。

問 2 表 1 および表 2 を説明する下記の文章について、(a) に入る適切な語句と (b) に入る適切な数字を書き入れなさい。なお、(b) の有効数字は現在の表 2 のインフルエンザのリスクの値と同一の桁数とする。

表 1 の「人口 10 万人当たり死亡者数」と「リスク」の数値を算出するために必要な数値は 2018 年の (a) である。

表 2 においてインフルエンザの「人口 10 万人当たり外来者数」が 1,173 人であった場合のリスクの値は (b) である。

問 3 筆者はリスクマネジメントにおいて「ハザードやエンドポイントを先に明らかにしてリスクを確率としてとらえる」ことを勧めている。そのことによる利点として、以下の①～④の選択肢のうち不適当なものを 1 つ選びなさい。

- ① リスクの大きさがわかり、リスクの比較ができるようになる。
- ② エンドポイントの理解は、他人との相互理解を進めることにもつながる。
- ③ エンドポイントが同じであれば、リスクも同じ値になるため対策を共通化できる。
- ④ リスクを大きさとしてとらえて、どれくらいの大きさのリスクなら受け入れられるかを考えることができる。

問 4 以下のア～エの 4 つの文章のうち二重過程理論におけるシステム 1 に関連する文章の組み合わせを以下の①～⑤の中から 1 つ選びなさい。

① ア イ ② ウ エ ③ ア エ ④ ア イ ウ ⑤ イ ウ エ

- ア 白衣を着ている人を見たら、その人は医師ではないかと思う。
- イ 自動車のような便益が大きいものはリスクを小さく判断したり、ウイルス性疾患のような便益がほとんどないものはリスクが大きいと判断したりする。
- ウ 生物は、外敵からの攻撃や厳しい自然環境において、生か死かという目に見える危機に直面し、素早い判断が求められる。
- エ 現在のような文明社会においては、人々は多様な手段でデータを入手し、それらのデータを踏まえて判断するようになっている。